

公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	坂上貴之	所属	慶應義塾大学文学部
研究会等名称	第 23 回行動数理研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 18 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 12 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>集会の目的：行動の数理的・定量的分析に関心を持つ研究者間の情報交換と研究の促進を目的として、年 1 回研究集会を開催し、研究集会の講演記録集を刊行している。集会では、研究会の前半に研究方法のテクニックや他の研究分野に関する知識を解説する教育セッションを、後半に一般の研究発表という構成で研究会を実施している。今年は、午前に 1 件の教育セッション、午後に 3 件の研究発表が行われた。</p> <p>実施内容： 日時 8 月 3 1 日 (月) 11 時 00 分より 16 時 10 分 場所 慶應義塾大学三田キャンパス 北館 1 F 会議室 2 プログラム： 午前の部：教育セッション 11：10-12：00 話題提供 酒井 裕 (玉川大学) 「行動科学としてみる強化学習理論の明と暗」 午後の部：研究発表 13：30-14：20 話題提供 折原友尊 (明星大学)・日座保久 (第一生命保険株式会社)・望月 要 (帝京大学) 「利益と損失の確率割引とリスク選択における“保険”の効果 一実験研究と調査研究の比較一」 14：20-15：10 話題提供 時 暁聴・坂上貴之 (慶應義塾大学) 「確率的な多段階場面における選択行動」 15：10-16：00 話題提供 八賀洋介 (慶應義塾大学) 「消去選択肢への選好パルスと誘導、選択行動のシミュレーションモデル」</p> <p>成果・将来計画：今年度の教育セッションでは、強化学習理論の専門家によるチュートリアルセッションを行なった。研究発表に関しては、定量的な実験的行動分析に関する研究が 3 件発表された。全体を通して、質疑応答も活発になされ、例年と同じく、密度の濃い研究集会となった。今後とも、行動の定量的研究に関心を持つ研究者のニーズを捉えた、自由な議論が展開できる研究集会を目指していきたい。</p>		

研究集会参加者リスト

〈研究会名〉				
第23回行動数理研究会				
研究集会開催日： 2015年 8月 31日				
	氏名	所属	会員番号	認定番号
1	岸村厚志	滋慶医療科学大学院大学		
2	森脇康子	滋慶医療科学大学院大学		
3	長島 愛	(株) 資生堂	○	
4	薄田芳祐	新潟大学医学部		
5	松井 大	慶應義塾大学		
6	黒田敏数	愛知文教大学		
7	時 暁聰	慶應義塾大学		
8	山岸直基	流通経済大学	○	
9	平岡恭一	弘前大学	○	
10	八賀洋介	慶應義塾大学	○	
11	坂上貴之	慶應義塾大学	○	
12	丹野貴行	明星大学	○	
13	福田実奈	同志社大学	○	
14	伊藤正人	大阪市立大学	○	
15	森井真広	慶應義塾大学	○	
16	藤巻 峻	慶應義塾大学	○	
17	中村 敏	大阪教育大学	○	
18	折原友尊	明星大学		
19	中村道子	駒澤大学	○	○
20	柳原康佑	兵庫教育大学		
21	嶋崎まゆみ	兵庫教育大学	○	
22	遠藤美行	同志社大学		
23	飛田伊都子	滋慶医療科学大学院大学		
24	望月 要	帝京大学	○	
25	石井 拓	和歌山県立医科大学	○	

	氏名	所属	会員番号	認定番号
26	山下博志	大阪学院大学	○	
27	古野公紀	明星大学	○	
28	三國珠杏	慶應義塾大学		
29	関東享佑	慶應義塾大学		
30	井垣竹晴	流通経済大学	○	
31				
32				
33				
34				
35				
36				
37				
38				
39				
40				
41				
42				
43				
44				
45				
46				
47				
48				
49				
50				

(様式5)

2016年 3月 28日

日本心理学会研究会 2015年度会計報告書

研究会名称 公益社団法人日本心理学会 行動数理研究会

研究会番号 研15017

助成金額 30,000円

年月日	項目	金額
2016年3月14日	印刷費 (講演記録集)	¥30,000

支出合計 ¥30,000